

センチネル3

2026年9月22日

YACかわら版761

センチネル3 FLEX
タンデム飛行



©ESA

最近宇宙関係で「おや」「まあ」「ふーん」ということが続きました。

・YACかわら版757は、センチネル3C打上が話題でした。センチネル3C衛星を軌道にのせ、その後FLEX衛星を軌道にのせました。衛星カタログ番号はその時点では不明でした。

・その後2つの衛星の情報が判明しました。

センチネル3C

衛星カタログ番号 (NORAD ID) : 100689

国際識別番号 (COSPAR ID) : 2026-209A

FLEX

衛星カタログ番号 (NORAD ID) : 100690

国際識別番号 (COSPAR ID) : 2026-209B

センチネル3Cの軌道投入が先ですからカタログ番号も若いですね、同じロケットに相乗りだから、国際識別番号もAとBかと「ふーん」

・検索サイトによれば、衛星カタログ番号をセンチネル3C→A0689、FLEX→A0690と表記されています。今年の7月に衛星カタログ番号が「99999」までを使い果たし、Aを使っているのかと「ふーん」

・9月20日12:00現在、16,581個のアクティブな衛星が報告されています。「ふーん」 <https://azmth.space/stats>

・ESAのFLEXの説明に「おや」「まあ」

https://www.esa.int/Applications/Observing_the_Earth/FutureEO/FLEX/The_satellite

“ミッションの重要な特徴は、コンボイ（集団）飛行構成です。FLEXは、同じ軌道面を周回するセンチネル3号衛星の6秒から15秒という非常に近い時間間隔で先行して飛行します。



この構成により、2つの衛星による地球のほぼ同時観測が可能になります。”

＊タンデム飛行と説明している文書もあります

＊距離で言うと100kmです。「ふーん」

なんとすごい接近です。しかも超高速！

＊デブリ対応の各種知見が活用されるのでしょうか。

・FLEXは植物に関する「太陽光誘起クロロフィル蛍光 (SIF)」のデータを集めます、6秒～15秒間隔でセンチネル3が「大気や温度のデータ」を収集します。両者を結びつけ分析します。センチネル3の大気状態や地表面環境のデータが重要です。「ふーん」

・FLEXを運用する計画は次のようです。

①すでに運用されているセンチネル3AとFLEXとが接近しタンデム飛行する。

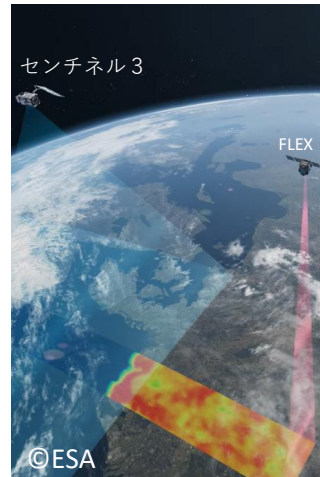
②①の間に、センチネル3Cは初期点検・運用準備をする。

③その後センチネル3CがセンチネルAの位置に移動し交代する。FLEXとタンデム飛行する。

④しばらくセンチネル3Aは、予備機として運用される。

・リザードテイル (lizard-tail) というサイトを活用すると上記の大ドラマが観察できそうです。「ふーん」

わくわくしてきますね。



©ESA